

プロフィール

岩手県議会議員 米内 紘正

昭和62年5月14日生まれ、盛岡市東松園在住



経 歴

平成 15 年 3 月 私立開成中学校 卒業

平成 18 年 3 月 私立開成高等学校 卒業

平成 23 年 3 月 東京大学農学部 卒業

平成 23 年 4 月 日本調剤株式会社 入社

平成 28 年 5 月 衆議院議員 鳩山邦夫 秘書

平成 28 年 10 月 衆議院議員 鳩山二郎 秘書 平成 30 年 10 月 自由民主党岩手県支部連合会

青年局次長に就任

令和 元 年 9月 岩手県議会議員 初当選

令和 4 年 1月 自由民主党岩手県支部連合会

政務調査会長に就任

●中学、高校、大学はバレーボール部に所属 (中学、高校時代は主将を務めました)

所属している委員会

- 議会運営委員会
- 農林水産委員会
- ●新産業創出・働き方改革 調査特別委員会 副委員長

所属している組織

- ●岩手県スケート連盟顧問
- ●岩手県バレーボール連盟顧問
- ●盛岡青年会議所
- ●盛岡市なぎなた協会 会長

家族構成

妻、子供1人

趣味

釣り、魚料理、旅行、 バレーボール、 スポーツ観戦



01

一般質問

12月定例会の一般質問では達増県政4期の実績や、令和5年度から始まるいわて県民計画第2期アクションプランの実効性について質問しました。令和4年の岩手県の出生数は、前年に比べて10%以上減少し全国ワーストの結果となるなど、岩手県の人口減少は全国に比べて倍以上のスピードで進んでいます。出生数の減少に関しては全国的なトレンドであるものの、鳥取県や富山県のように出生数の減少に歯止めをかけている地域もあり、都道府県の取



組も大きな役割を担っています。いわて県民計画の第1期アクションプランは結果を残したとはいえず、様々な事業に対して効果検証や原因の分析が不足しています。原因分析と根拠に基づいた事業構築を行うことで、若年層の就職支援や子育て支援を根本から見直し、一刻も早く若年人口の県外流出に歯止めをかけ、出生数の減少を食い止めるように訴えました。





予算特別委員会 総括質疑

2月定例会における予算特別委員会では自由民主党の会派を代表して総括質疑を行いました。令和5年度の一般会計予算に関して、自由民主党は他の県議会会派である県民クラブや公明党とともに予算の組み替え動議を提出いたしました。組み替え動議とは県が提示した予算案に対して、予算の配分を変えるべきだとして予算案の再提出を求めるものです。今回、県が提示した予算からは人口減少に対する危機感が感じられなかったため、保育料の第一子までの無償化や働き方改革支援、中小企業や農林水産業の支援強化などへの重点配分を求めて予算の組み替え動議を提案しました。結果は賛成20人、反対23人と僅差で否決となったものの、十数年ぶりの予算組み替え動議の提出に至り、賛否が拮抗したことは現県政の政策の実効性が乏しいことが原因であると考えております。





03

農林水産委員会

県議会任期中の後半2年間は農林水産委員会に所属し、農林水産業の振興に関わる質問や視察を行いました。日本全体の農林水産物・食品の輸出が加速度的に伸びていく中で、伸び悩んでいる岩手県の輸出において、より戦略的な品目やターゲット国の選定、トップセールスの重要性を訴えました。また、今後伸びていくと予想されるオーガニック市場の拡大に向けて、国の「みどりの食料システム戦略」と呼応して、有機農法などの推進を強化するよう提言しました。会派では畜産や酪農、土地改良区の視察を行い、物価高騰など様々な問題に直面している皆様から直接要望を頂き、それらを県や国に届け具体的な解決策を求めました。



04

調査·要望活動

令和4年より自由民主党岩手県連の政務調査会長を拝命し、市町村へ直接出向いての要望調査や業界団体との意見交換、災害調査などを行い、県全体の政策のとりまとめを行っております。地域や業界団体の皆様から頂いた声は、党本部で定期的に開催される全国政務調査会長会議に持っていき、政府の政策や選挙の公約に反映されるように訴えております。令和4年に関しては、水田利活用の直接支払交付金の見直しや大雨災害の復旧、地域公共交通の維持、DX推進における中小企業などへの人材育成支援、部活動の地域移行に関する支援などを要望し、政策や公約への反映を実現しました。



議会など日々の活動報告





https://www.facebook.com/

県議会のスケジュールや セミナーの案内





https://lin.ee/lxwst2z

一般質問や委員会の動画 県政レポートのバックナンバー





https://yonai.info